



# 広 報 栄 養 な が の

23号

令和  
5年

(公社)長野県栄養士会

TEL.026-235-2308 ホームページ <https://www.nagano-eiyou.com>  
FAX.026-235-0632 メールアドレス [eiyou-na@beach.ocn.ne.jp](mailto:eiyou-na@beach.ocn.ne.jp)

(公社)長野県栄養士会  
長野市大字南長野市南県町685-2  
長野県食糧会館内  
発行日/令和5年7月12日  
責任者/馬島 園子



## 『会員の活力につながる魅力ある栄養士会づくり』にむけて

公益社団法人長野県栄養士会 会長 馬島 園子

近年の激しい気候変動に地球温暖化を身近に感じる日々です。皆様には平らかにお過ごしでしょうか？

さる5月27日に長野県栄養士会第12回通常総会を無事終わることが出来ました。今年は3年に及ぶ新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたことで、久しぶりに会場内の規制や賛助会員様の参加の規制を外しての総会が開催できました。

令和5年度事業の基本方針は、総会資料に記載した通りです。この方針に沿って事業を進めて参りたいと思います。長く長野県栄養士会を支えていただいた諸先輩方等の退会と入会者の減少で、栄養士の会員が減少しています。そこで特に4番目に掲げた「会員の活力につながる魅力ある栄養士会づくり」を、皆様のお知恵を拝借しながら充実させていきたいと考えております。

日本栄養士会会長中村丁次先生は、「現在、発展途上国では他国の資金支援で学校給食が実施できているが、支援の期間が終わるとその国の学校給食が行き詰まってしまう。戦後日本がそのようなことに陥らずに、アジアにおいて最も早く

栄養や食事に関する問題を解決できたのは、栄養施策に積極的に取り組み、管理栄養士・栄養士を食の専門家として育て、様々な職場に配置して栄養問題の課題克服を実践してきたからである」と言っておられます。そして代々の栄養士会諸先輩の法律整備や栄養施策への働きかけがあったからこそ、現在私たちは管理栄養士・栄養士の資格をもって様々な職場で仕事をする事ができているのです。

昨今の地球環境の変化やコロナ禍以降の社会情勢の変化が、今後私たちを取り巻く環境をどう変えていくのか予測が付きませんが、やはり同じ専門職としての団結が、時代の波に飲み込まれてしまわない行動につながると考えます。私たちがそれぞれの職場や地域で、専門職として生き生きと活躍できることが、管理栄養士・栄養士の知名度を上げ、さらには仲間づくりにも繋がると考えております。そのためには、日本栄養士会・長野県栄養士会の組織の力も必要です。どうか会員の皆様お一人おひとりが『会員の活力につながる魅力ある栄養士会づくり』のために何ができるのかを考えて会を盛り上げ、会員増につなげていただければ幸いですように、心からお願い申し上げます。



## 『信州の食でつながる、人づくり、地域づくり』 ～長野県栄養士会の皆様とともに～

長野県健康福祉部 健康増進課長 田上 真理子

長野県栄養士会の皆様におかれましては、日頃からそれぞれの職場や地域で、県民の健康増進と栄養改善の推進に御尽力をいただいていることに加え、「信州ACEプロジェクト」の推進等、県の様々な事業等にご協力いただき、感謝申し上げます。

皆様ご承知のとおり、長野県は全国トップレベルの健康長寿県であり、これは世界に誇れる大きな財産といえます。これもひとえに、皆様が県下全域で活発な保健医療活動を行ってきた、長年の積み重ねによるものと認識しています。

さて、県では本年度から、第4次の食育推進計画をスタートしております。「信州の食でつながる、人づくり、地域づくり」を基本理念に掲げ、若者や働き盛り世代の生活習慣病予防、高齢者世代の低栄養予防の必要性、食文化や伝統食の継承といった課題に加え、核家族化や高齢化の進行、新型コロナウイルス感染症の影響、社会のデジタル化といった新たな視点を加えた計画となっております。

「若い世代への食育」においては、高校生から保護者の働きかけが難しくなり食育の機会が減少するという課題があります。そのため、将来を見据えた継続的な食育の取組が進められるよう、今年度から長野県栄養士会へ出前講座を委託して、高校生への食育を強化していく予定です。

また、食環境整備においては、健康に配慮している「信州食育発信3つの星レストラン」の増加や普及啓発について、引き続き、皆様にご協力をいただきながら進めていきたいと考えております。

このように計画を実現するためには、県のみでなく、長野県栄養士会の皆様を始めとする様々な方と協働して、地域やライフステージごとの健康および食生活の課題解決に取り組んでいくことが重要であると考えております。

長野県栄養士会の皆様方とは、これまで以上に連携を図りながら、県民の健康づくりに資する施策を推進していきたいと考えておりますので、引き続き御協力のほどお願い申し上げます。

## 第12回通常総会 特別講演

# 「腸活でカラダもココロも健康に！」

## ～腸内細菌の多様性が健康長寿の秘訣～

京都府立医科大学大学院  
生体免疫栄養学講座

教授  
内藤 裕二 先生

## ● 講演をお聞きして

中信支部 奥原 ゆかり



内藤先生は「生体免疫栄養学」という私たちに身近な分野でご研究されていらっしゃる先生です。最新の研究から、世界では「サステイナブルヘルシーダイエット」という考え方が主流になってきています。これは「持続

可能な健康な食」という意味です。人の健康だけを考えて食事を決めてはいけません。人の健康以外に、地球の健康、動物の健康も大切だと。人生100年時代となり、「持続可能な健康な食」による健康栄養学が極めて重要となっています。なかでも、筋肉、骨と認知機能に対して、どのような食事のとり方が影響するのかについて考える必要があります。筋肉を維持する、握力を維持する、歩行速度を維持するために私たちは何を食べたらよいのか考えなければなりません。

「ガットフレイル」という「胃腸の働きの虚弱化」という新しい概念のお話も大変興味深く、栄養指導の必要性を感じました。乳幼児の腸内環境は3歳までに完成するので、それまでの食事が大切です。こどもの便秘は大人以上に問題があり、高脂肪食や低食物繊維食を改善する必要があります。

長野市の西側に位置する「西山地方」でとれる「西山大豆」を取り上げながら、昔からの信州の食文化も踏ま

えての、食物繊維の摂取についても興味深く聞かせていただきました。

内藤先生は2025年に開催される大阪・関西万博の大阪府・大阪市パビリオンのアドバイザーでいらっしゃいます。健康をテーマとしたパビリオンですので、是非来ていただきたいとのことでした。「太陽の塔」と同じく永久パビリオンになることが決まっているそうです。1年に1回万博会場に行って自分の健康をチェックしてみるのもよいのではないのでしょうか。

内藤先生の講演資料は、ホームページの「会員専用ページ」➡「情報共有掲示板」にアップしてあります。

ホームページの「本会の活動紹介」は  
こちらから➡



### 受賞おめでとうございます 保健衛生知事表彰

栄養改善

池上 栄子 (松本市)

栄養改善

土村 みどり (飯島町)

【厚生労働省】

トピックス

医療機能情報提供制度における医療従事者の人員配置の報告職種に

## 管理栄養士・栄養士を追加

医療機能情報提供制度では、病院等の管理者は医療法に基づき、患者が病院等の選択を適切に行うために必要な情報として、厚生労働省令で定める事項を都道府県知事に報告しなければならないこととなっています。

今回、厚生労働省において本制度の報告事項の見直しがなされ、「人員配置について報告することとされる、医療従事者の職種として厚生労働大臣が定めるもの」に、

管理栄養士・栄養士が追加されることとなりました。

これにより、今後は病院等に勤務する管理栄養士・栄養士の人員配置が都道府県知事へ報告されるため、医療従事者としての管理栄養士・栄養士の就業実態がより正確に把握されることとなります。また、国民に対して病院等における管理栄養士・栄養士の人員配置について広く情報提供がなされることが期待されます。

# 特徴ある7支部の活動 仲間を増やそう!

ホームページの「支部の活動紹介」は  
こちらのQRコードから



## 北信支部 (343人)

各職域で当番を決め各種事業に取り組んでいます。「まちかど栄養相談室」10回、「ぬくぬく亭(災害支援)」12回実施。9月「子ども・子育てフェスティバル」、10月「農業フェア」に参加。「週刊長野」と「市民新聞」に献立と情報を月1回掲載。様々な食の大切さを発信しています。

## 中信支部 (294人)

南木曾町から小谷村という南北に広い地域にわたっています。支部研修会では、体験と一緒に考えたりすることで、会員相互の交流が図れるよう工夫しています。また、近年のWeb利用により遠方の会員の負担が軽減されるようにも取り組んでいます。

## 上小支部 (114人)

今までは1店舗のみで実施していたまちかど栄養相談室ですが、今年度は別の店舗や道の駅・直売所での開催を計画しました。今までとは違う来場者層に期待します。既に実施した会場では男性の参加者が今までより多くみられています。

## 伊那支部 (131人)

報告会の際、各事業部の活動報告を行っています。他事業部の状況が共有できるよい機会になっています。今年度は医療事業部から、「上伊那地域版嚙下調整食表の作成等について」、また保育所事業部からは、「食物アレルギー対応の取組について」の発表でした。

## 佐久支部 (118人)

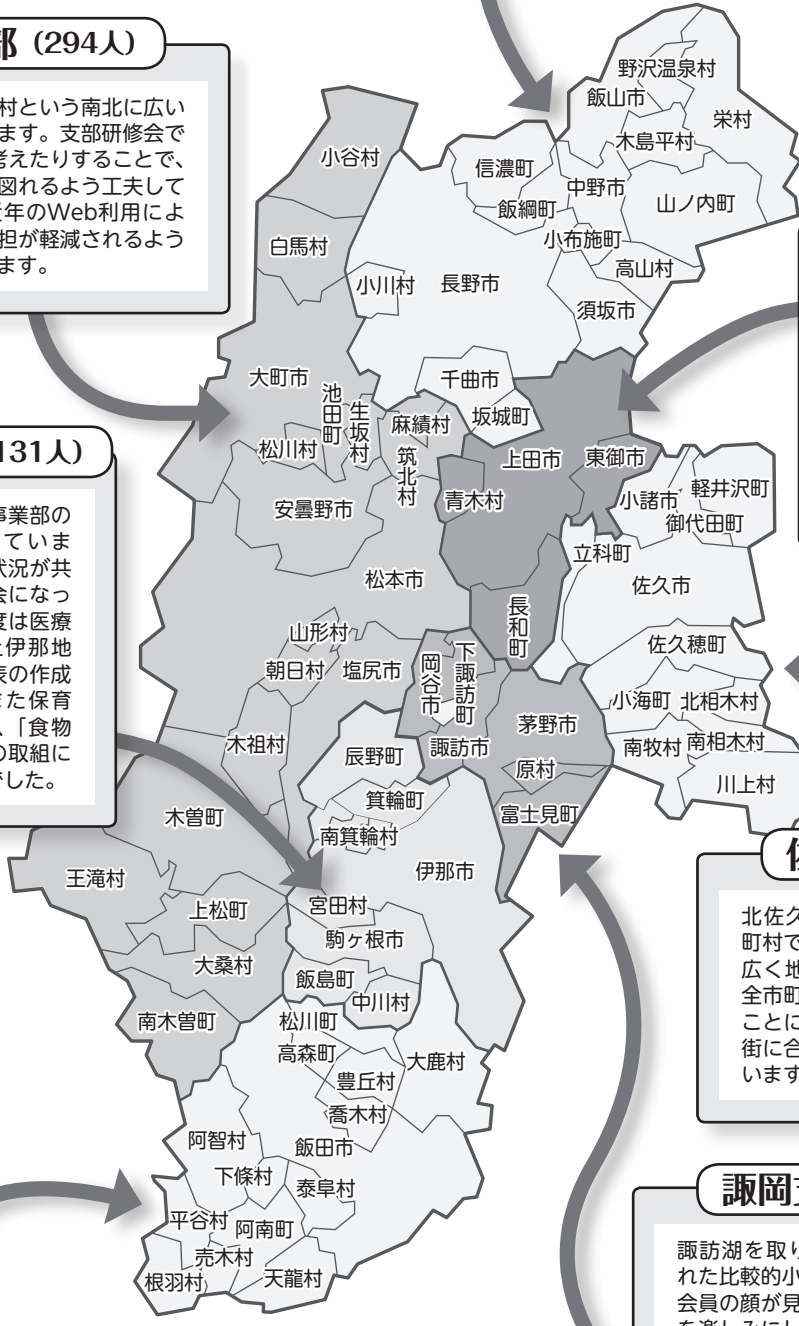
北佐久郡、佐久市、南佐久郡の11市町村で構成されています。栄養士会を広く地域の皆様に知って頂くために、全市町村でまちかど栄養相談室を行うことにしました。温泉・直売所とその街に合った形で栄養士会の旗を掲げています。

## 諏岡支部 (143人)

諏訪湖を取り巻く6市町村で構成された比較的小さな支部です。このため会員の顔が見え交流もあり、研修会等を楽しみにして多くの方が参加してくださいませ。当支部では研修会の企画運営を各事業部の当番制にしてやっており、研修会の内容も多岐にわたり行っていると思います。報告会は諏訪地域で活躍されている会員の発表の場ともなり、連携がとれる機会となっています。

## 飯下支部 (143人)

同じ栄養士として働いていますが、それぞれ職域が異なると学びたいことや業務上の悩みが異なります。支部研修会を考える時に役員の中で、どのような内容がよいか案を出し合い、今年度は「災害時の管理栄養士・栄養士の活動について」計画することができました。県全体の研修と合わせて、多くの会員の方に参加していただきたいと思ひます。



< ( ) 内は会員数 R5 総会資料より引用 >



### 各職域の情報

HPはこちらの  
QRコードから



### 医療 (450人)

この職域では、『PES報告の活用』をテーマにしています。栄養管理計画書を作成し病室へ行くようになり、今は記録を標準化していこうとしています。患者さんに声をかけて観察し記録をしていきましょう。



### 学校健康教育 (148人)

昨年度「児童生徒の食に関する実態調査」を実施し、その結果から課題解決のために、3つの重点を決めました。保護者への周知や他の職域の方々と連携しながら、各学校での児童生徒への指導の充実をすすめていきます。



### 勤労者支援 (48人)

働き世代（勤労者）に対する、健康な食事・食環境の提供は、給食委託会社をはじめとする勤労者支援事業部の使命です。  
『スマートミール』認証（「健康な食事・食環境」認証制度）を取得する食堂を増やすことも目標ですが、他にも自ずと健康になるアプローチを模索しています。



### 研究教育 (42人)

コロナ禍やオンラインツールの広がりにより、対面での交流の機会が少なくなっています。研究教育事業部では、情報交換等の場として交流会を計画しています。また、今年度も勤労者支援事業部との研修会を開催しました。



### 公衆衛生 (148人)

行政栄養士として、全ライフステージの健康づくりに関わっています。今年度、県及び多くの市町村で策定年度を迎える健康増進計画や、開始から4年目となる「高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施」を踏まえて研修を行い、地域における推進体制を深めていきます。



### 地域活動 (174人)

フリーで活動している会員で構成されています。昨年度は各支部にサテライト会場を設け、2回の研修会を開催しました。地域の中で県・支部イベントの普及啓発活動、研修会開催を行っています。今年度は会員同士の繋がりを大切に活動していきます。



### 福祉 (276人)

施設の数に比べて、栄養士、管理栄養士の配置が少ないのが福祉分野の課題です。横のつながりも持てるような研修会も計画しています。ぜひ積極的に研修会に参加していただき、仲間を増やしていきましょう！



## 職域を超えた仲間作りでつながる諏岡支部

諏岡支部副支部長 上林佐智代

私が栄養士会に入会したのは、30年ほど前になります。諏岡支部にはたくさんの先輩方がいました。職域の代表として参加した役員会では、仕事終わりで参加するため先輩方が手作りおやつを持参され、和やかな雰囲気の中で会議を行い、会員同士のつながりを作ってくださいました。当時から職域を超えた横のつながりが心強く、とても勉強になったと記憶しています。

先輩方に伺いますと、諏岡支部初代会長茅野和さんは「栄養士は栄養士会に入会し子どもを連れて来ていいから、研修会に積極的に参加し勉強しなさい。その会費を支払うために働きなさい」と、栄養士会員に声をかけていたそうです。

全県で「塩分調査」が実施された昭和50年頃、元支部長織田米子さんを中心に諏訪地域において、23年間、塩分摂取量調査を行い学会でも研究発表されました。昭和54年に

は、諏訪地方栄養問題協議会が誕生し、栄養教室を各地区の公民館で開きました。その後、諏訪市の恒例事業となり、栄養士の活躍の場がさらに広がりました。また、著名な先生をお呼びして研修会を開催してきました。

平成3年より、JA信州諏訪農協月刊誌「ジャスミン」食のコーナーでは諏岡支部が担当し、現在も継続掲載されています。

これらの様々な取り組みを通して、先輩方が職域を超えた仲間作りをしてくださったのだと思います。現在も、諏岡支部は「栄養の日」「まちかど栄養相談室」など、6市町村の会員が職域を超えて一緒に活動しています。非会員の栄養士にも声をかけ、栄養士会活動を活発に行いたいと思います。



学校においては一人職種でもある栄養教諭は、他職域の栄養士さん方と学び合う機会は多くはありません。栄養士会から発信される様々な最新情報に加え、本会や支部での様々な研修会等を通して、専門職としてのスキルを身につけていきたいと思っています。

現在、中学校に勤務していますが、栄養教諭が学校に在籍している良さをいかし、給食指導、学級活動、技術・家庭科、保健体育、生徒会など、様々な学校生活の中で食に関する指導を行っています。食を通して、成長期真っただ中の子どもの成長のお手伝いができる栄養教諭という職業は、とてもやりがいがあります。

学校健康教育事業部では、「学校における食育の評価」についての研修会が毎年開催され、参加しています。食育を教育として計画的に実施し、子どもたちの育ちにつなげて食育の成果を評価していくための方法を、演習を含めながら身につけることができました。

また、地域の方々との連携も重要となってきます。支部での取り組みにも積極的に参加し、栄養教諭として成長していきたいと思っています。

## 守られています!!

会員の皆さまは、  
「栄養士賠償責任保険」に自動的に加入!

保健、福祉、医療などの専門職として、日々の業務には、重い責任が伴う場合があります。

栄養士会に入会すると自動的に「栄養士賠償責任保険」加入となり、万が一に備えます。

### 栄養士賠償責任保険で補償される事故内容

管理栄養士・栄養士として製造、販売、提供した飲食物や献立、栄養管理計画書などが原因となり発生した賠償事故

#### 〈事故の例〉

- ◇提供した飲食物が原因で食中毒が発生してしまった。
- ◇栄養管理が必要な患者が、栄養管理計画書の誤りにより亡くなられた。
- ◇給食管理上のミスにより生徒に身体障害が発生した。 など

#### 【保険金額】

身体・財物賠償共通  
1名/1事故/  
保険期間中 1億円

詳細は  
こちらから→



## 樋村昭子名誉会員のご逝去を悼む

樋村昭子名誉会員が、病气療養中のところ、去る令和5年2月17日にご逝去されました。享年80歳。ここに謹んでお悔やみ申し上げ、皆様にお知らせいたします。

樋村さんは2002年度から2007年度まで、社団法人長野県栄養士会会長を務められ、その後、日本栄養士連盟長野県支部の支部長も歴任され、会員の資質向上、当会の社会活動の今後の進め方にもご尽力いただきました。

私と樋村さんの出会いは、1982年京都国際会議場での学会参加がきっかけでした。私は「学会はどのようなものか」と興味津々に参加しました。会場で、あの人懐っこい笑顔でご挨拶をいただき、たちまち意気投合し、会食を楽しみながら、「栄養士会の組織づくり」を熱っぽく語り合ったことが思い出されます。

在りし日を皆様と共に偲び、今在る栄養士会へのご功績を称えとともに、改めてご冥福をお祈り申し上げます。

長野県栄養士会 元会長 園原 規子



賛助会員による情報提供

**morinaga** **発見! 大人のための粉ミルク**

売上 **No.1**  
※1 大人向け粉ミルク市場

※1 出典：富士経済「16日 フーズマーケティング便覧 2019」2017年実績

大人に大事な栄養がたくさん

牛乳には含まれない成分 **ビフィズス菌BB536** 腸内環境をサポート

牛乳ではとりにくい成分 **ラクトフェリン** 守る力をサポート

牛乳には含まれない成分 **シールド乳酸菌®** 健康力をサポート

中鎖脂肪酸 鉄 カルシウム DHA ビタミン11種類 ミネラル7種類※2 食物繊維

※2 ミネラル7種類には、カルシウム、鉄を含みます

お問い合わせ ☎ 0120-303-633 受付時間 9:00~17:00 (年末年始を除く) **ミルク生活 森永乳業**

**株式会社シニアライフクリエイト (宅配クック123本部)**

**医師推奨 マーク取得※ 業界初!** **高齢者専門宅配弁当**

Doctors 2% 医師推奨 食事サービス部門

※ 医師 115 名による弊社「食事サービス部門」への評価。(2022年12月 Doctors me 調べ)

※ 「宅配クック123」「特助くん」「結の台所」「健康直球便」は (株)シニアライフクリエイトのサービスです。

**大好評! 無料試食勉強会開催中!**

どんな味なのか試してみたい

健康支援型配食サービスについてもっと知りたい

疾病・重症化予防 介護・フレイル予防に活用したい

健康寿命延伸への取り組み事例を聞いてみたい

まずは、無料で試食してみませんか?

★1日1食からOK! ★配達料無料

★見守り ★土日祝もお届け

★低栄養・フレイル予防

★予防に活用できるお弁当! (健康支援型配食サービス)

お問い合わせ、HPはこちら!

〒108-9973 東京都港区三田3丁目12番14号 ニッテン三田ビル6階

TEL : 03-6303-7500 FAX : 03-5427-3989

高齢者専門宅配弁当 **宅配123** C O O K ワン・ツウ・スリー

**こんにちは**

事務局です。

「2023年度全国栄養士大会・オンライン」 **スタート!**

【話術～AI・ICT時代を勝ち抜く手段～】

2023年は“話術”に注目。現場力を高めるヒントが満載です!

6/28～9/3のおよそ2か月間、会員は日本栄養士会ホームページより無料で講演等の視聴が可能です。お見逃しなく!

◆会員番号、パスワードが必要です。  
◆ご不明な場合は事務局までお問い合わせください。

▼講演一覧